

第3期さっぽろ未来創生プラン
パブリックコメント
意見集

札幌市

市政等資料番号
01-B01-24-2815

目次

1	パブリックコメントの概要	
(1)	意見募集の概要	2
(2)	意見募集期間	2
(3)	意見提出方法	2
(4)	資料の配布場所	2
(5)	意見募集の周知方法	2
2	パブリックコメントの内訳	
(1)	意見提出者数・意見数(年代別)	3
(2)	提出方法別内訳	3
(3)	意見内訳	3
3	意見に基づく当初案からの変更点	4
4	パブリックコメントの主な意見の概要とそれに対する札幌市の考え方	
(1)	プラン全般への意見	8
(2)	第3章 人口ビジョン編	9
(3)	第4章 総合戦略編 第1節 総合戦略の枠組み	10
(4)	第4章 総合戦略編 第2節 人口減少緩和戦略 1 質の高い雇用創出と魅力的な都市づくり	10
(5)	第4章 総合戦略編 第2節 人口減少緩和戦略 2 結婚・出産・子育てを支える環境づくり	18
(6)	第4章 総合戦略編 第2節 人口減少緩和戦略 3 若い世代へ向けたアプローチの強化	26
(7)	第4章 総合戦略編 第3節 人口減少適応プロジェクト 1 市民が幸せになるための取組の強化	31
(8)	第4章 総合戦略編 第3節 人口減少適応プロジェクト 2 外国人材に選ばれる環境づくり	32
(9)	第4章 総合戦略編 第3節 人口減少適応プロジェクト 3 持続可能な都市の在り方の検討	34
(10)	その他	35

1 パブリックコメントの概要

(1)意見募集の概要

札幌市では、人口減少対策の個別計画である第3期さっぽろ未来創生プラン(案)を取りまとめ、より良い計画にするために、市民のみなさんの御意見を募集しました。いただいた御意見を参考に、当初案を一部変更いたしました。

(2)意見募集期間

令和6年12月25日(水曜日)～令和7年1月24日(金曜日)まで(31日間)

(3)意見提出方法

郵送、FAX、Eメール、札幌市公式ホームページ意見提出フォーム、持参

(4)資料の配布場所

札幌市役所本庁舎 5階まちづくり政策局政策企画部企画課/2階市政刊行物コーナー
各区役所(総務企画課)
各まちづくりセンター
市立高校、専門学校、大学等
札幌市公式ホームページ
札幌国際プラザ

(5)意見募集の周知方法

広報さっぽろ1月号
札幌市公式ホームページへの掲載

2 パブリックコメントの内訳

(1)意見提出者数・意見数(年代別)

年代	19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明	合計
人数	182人	11人	2人	10人	1人	6人	2人	0人	214人
件数	215件	14件	3件	15件	1件	18件	4件	0件	270件

(2)提出方法別内訳

提出方法	郵送	FAX	Eメール	ホームページ	持参	合計
人数	2人	0人	0人	13人	199人	214人
構成比	0.93%	0%	0%	6.07%	93%	100%

(3)意見内訳

分類	件数	構成比
プラン全般への意見	22	8.1%
第1章 第3期さっぽろ未来創生プランの策定について	0	0%
第2章 第2期さっぽろ未来創生プランの評価	0	0%
第3章 人口ビジョン編	8	3.0%
第4章 総合戦略編	225	83.3%
第1節 総合戦略の枠組み	1	0.4%
第2節 人口減少緩和戦略	193	71.5%
1 質の高い雇用創出と魅力的な都市づくり	73	32.4%
2 結婚・出産・子育てを支える環境づくり	68	25.2%
3 若い世代へ向けたアプローチの強化	52	19.3%
第3節 人口減少適応プロジェクト	31	11.5%
1 市民が幸せになるための取組の強化	11	4.1%
2 外国人材に選ばれる環境づくり	17	6.3%
3 持続可能な都市の在り方の検討	3	1.1%
第4節 様々な主体との連携	0	0%
第5節 主要事業一覧	0	0%
第5章 プランの推進に当たって	0	0%
資料編	0	0%
その他	15	5.6%
総計	270	100%

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも一致しません。

3 意見に基づく当初案からの変更点

市民の皆様からいただいた御意見をもとに、当初案から4項目修正いたしました。御意見は趣旨が変わらない程度に要約しています。

「はじめに」について

修正内容

修正箇所	「はじめに」
修正前	記載なし
修正後	表紙の次ページ「はじめに」に目指すべき将来の姿の大項目を提示の上、プランに関連する様々なシーンの写真を掲載

修正の元となった意見

意見の概要	人口が減少することを恐れすぎることは、市民に意識させすぎることになるので避けたほうが良いと思う。人口減少によって生み出される価値があったり、人口が何人かというよりも、一人ひとりが好きなことができていることの方が大事だと思う。【類似意見3件】
札幌市の考え方	人口減少などの情報を発信する際には、市民の皆様に不安を与え過ぎないよう配慮することは重要であるとともに、市民の皆様が好きなことをできているなど幸せを感じたり、希望を実現していることが大切であると認識しております。また、人口減少によって環境負荷の低減や過密性の緩和などが生じるという側面について、持続可能な都市の在り方の検討に記載しております。御意見を踏まえ、プランを見た方が明るい気持ちになれるよう、目指すべき将来の姿の大項目を様々な場面の写真とともに、「はじめに」に掲載いたします。

障がい者の活躍推進について

修正内容

修正箇所	第4章 総合戦略編 第2節 人口減少緩和戦略 1 質の高い雇用創出と魅力的な都市づくり
修正前	記載なし
修正後	【障がい者の活躍推進】 関係機関と連携して障がいのある方や企業等からの一般就労に関する相談に応じるとともに、障がいのある方、障害福祉サービス事業所及び民間企業を対象としたセミナーや各種講座等を実施し、障がい者雇用を促進します。

修正の元となった意見

意見の	障がい者が札幌市の構成員と見られていない感覚を覚えた。また、障がい者
-----	------------------------------------

概要	をはじめ、学生・若い社会人・女性等、様々な人に意見を聞くような場を設けて意見を聞いて欲しい。【類似意見1件】
札幌市の考え方	第3期さっぽろ未来創生プランは、「誰もが幸せを感じ、希望を実現している、魅力と活力に満ちあふれる未来」を目指すべき将来の姿の大項目に設定しており、障がいのある方をはじめ、高齢者、女性、外国人等を含めるものであるとともに、策定に当たっては、ワークショップや出前講座など様々な機会を通じてご意見をお伺いしており、引き続き様々な場面でご意見をお伺いしてまいります。御意見を踏まえ、「障がい者の活躍推進」の項目を追加いたします。

子ども食堂など子どもの居場所づくりについて

修正内容

修正箇所	第4章 総合戦略編 第2節 人口減少緩和戦略 2 結婚・出産・子育てを支える環境づくり
修正前	<p>【子どもを支える環境の充実】</p> <p>子どもの心の診療についての関係機関によるネットワークの強化や児童精神科専用病床の設置を実施するとともに、医療的ケアを必要とする児童が健やかに成長でき、その家族が安心して子育てを行える環境を作るため、訪問看護の提供や、短期入所で受入れる体制を維持・改善します。</p> <p>また、児童生徒が置かれた様々な環境への働きかけ等のため、専門的な知識や経験をもつ専門家であるスクールソーシャルワーカーを活用するとともに、社会的養護を利用している子どもを対象とした意見形成・表明支援を実施します。</p> <p>今後の人口減少等の給食運営の課題を踏まえ、持続可能な給食提供の在り方を検討します。</p>
修正後	<p>【子どもを支える環境の充実】</p> <p>子どもの心の診療についての関係機関によるネットワークの強化や児童精神科専用病床の設置を実施するとともに、医療的ケアを必要とする児童が健やかに成長でき、その家族が安心して子育てを行える環境を作るため、訪問看護の提供や、短期入所で受入れる体制を維持・改善します。</p> <p>児童生徒が置かれた様々な環境への働きかけ等のため、専門的な知識や経験をもつ専門家であるスクールソーシャルワーカーを活用するとともに、社会的養護を利用している子どもを対象とした意見形成・表明支援を実施します。</p> <p>今後の人口減少等の給食運営の課題を踏まえ、持続可能な給食提供の在り方を検討します。</p> <p>地域全体で子どもたちを見守る環境を充実させ、安心して過ごせる地域</p>

	の居場所づくりを推進するため、子ども食堂など子どもの居場所づくりの活動に対し支援します。
--	--

修正の元となった意見

意見の概要	多様な世代が交流できる子ども食堂があると良いと思う。子育て経験のある高齢の方が、子育て中のお母さんの相談を受けてくれると助かると思う。高齢の人達も役割ができ、健康で長生きも出来るとも思う。食事が出来る場所としても、不登校児や引きこもりなどの人達への第三の居場所にもなると思う。
札幌市の考え方	札幌市内では、地域の団体やNPO法人等多くの団体が、それぞれの理念や目的の下で、様々なコミュニティ活動を実施しています。その中には、ご提案のような活動を行っている子ども食堂もあり、そうした活動も含めて、引き続き「安心安全な環境の下で、様々な交流・経験機会の提供を通じて健やかな成長を促すとともに、地域で子どもを見守る取組(居場所づくり活動)」を支援していきます。ご意見を踏まえ、子どもを支える環境の充実の項目に、「子ども食堂など子どもの居場所づくり」に関する記載を追加いたします。

子育て等の魅力の発信について

修正内容

修正箇所	第4章 総合戦略編 第2節 人口減少緩和戦略 3 若い世代へ向けたアプローチの強化
修正前	【目指すべき将来の姿・子育て等の魅力の発信】 札幌の目指すべき将来の姿の共有や子育て等のイメージアップを図るため、人口減少対策によって実現する目指すべき将来の姿を特に若者が具体的にイメージできるよう情報発信していくとともに、子どもや子育ての良さ・喜びを幅広い世代で共有、共感できるような取組を推進していきます。
修正後	【目指すべき将来の姿の共有】 オール札幌で人口減少対策に取り組んでいくため、人口減少対策によって実現する、札幌の目指すべき将来の姿について、市民と共有するとともに、特に若者が具体的にイメージできるよう情報発信を行います。 【子育て等の魅力の発信】 子育て等のイメージアップを図るため、 <u>子どもと触れ合う機会や子育て経験者と話す機会の確保など</u> 、子どもや子育ての良さ・喜びを幅広い世代で共有、共感できるような取組を推進していきます。

修正の元となった意見

意見の概要	子どもを持たない人々が実際に子どもを持っても良いと考えられるよう、子どもと触れ合える機会を設けることが重要だと思う。子どもを持つだけでなく、将来の仕事の選択肢に保育士が追加され、保育士の不足を補えると思
-------	---

	<p>う。【類似意見3件】</p> <p>子どもを持つことについて、どのように大変で、どれだけお金がかかるかなど具体的な事を知れる機会が多くないためイメージがわからず不安だけを感じる。【類似意見1件】</p> <p>若者は子育てに大変なイメージを持っているなど、大変なところばかりに目がいつている。そういう情報や話が耳に入ることが原因だと思うことから、もっとポジティブな情報共有、子育て経験者からの幸せな話を聞けるような場が必要だと思う。【類似意見4件】</p>
札幌市の考え方	<p>人口減少緩和戦略の若い世代へ向けたアプローチの強化の子育て等の魅力の発信において、子育て等のイメージアップを図るため、子どもや子育ての良さ・喜びを幅広い世代で共有、共感できるような取組の推進を掲げております。ご意見を踏まえ、子育て等の魅力の発信の項目に、「子どもと触れ合う機会や子育て経験者と話す機会の確保」について記載を追加いたします。</p>

4 パブリックコメントの主な意見の概要とそれに対する札幌市の考え方

プラン全般への意見

意見の概要	札幌市がこのようなプランを作り、ここに掲載されているような取組を行っている、行おうとしていることを知らない人が多いので、若い世代にしっかりと周知し、また人口減少という課題を自分事にしてもらう必要がある。【類似意見 11 件】
札幌市の考え方	第3期さっぽろ未来創生プランの周知は重要なことであると認識しており、出前講座などの様々な機会を通じて周知に向けて取り組んでいくとともに、人口減少緩和戦略の若い世代へ向けたアプローチの強化では、目指すべき将来の姿の発信を掲げており、目指すべき将来の姿を若者が具体的にイメージできるよう取り組んでまいります。

意見の概要	札幌市に人がどんどん入ってくるためには、新しいことに積極的に取り組んで行く必要があり、プランの中で優先順位をつけて進めてほしい。【類似意見 1件】
札幌市の考え方	第3期さっぽろ未来創生プランにおいて、地域おこし協力隊の活用や外国人雇用の拡大に向けた取組など新たなものを積極的に取り入れており、引き続きプランの適切な推進に取り組んでまいります。

意見の概要	札幌市の取組と市民のニーズが一致しているか、市民がどのような取組を求めているのか聞いた方が良い。【類似意見1件】
札幌市の考え方	さっぽろ未来創生プランの策定においては、大学生や移住経験者を含む様々な分野の委員で構成する有識者会議を3回開催するとともに、出前講座やワークショップ、またパブリックコメントなどを実施いたしました。引き続き、出前講座やワークショップなど様々な場面を通じて、市民の皆様のニーズや意見などの把握に努めてまいります。

意見の概要	子育て世帯以外の人にも何か対策をした方が良いと思う。
札幌市の考え方	第3期さっぽろ未来創生プランは、「誰もが幸せを感じ、希望を実現している、魅力と活力に満ちあふれる未来」を目指すべき将来の姿の大項目に掲げており、子育て世帯以外の人に対しても、質の高い雇用創出と魅力的な都市づくり、結婚・出産・子育てを支える環境づくり、若い世代へ向けたアプローチの強化などに取り組んでまいります。

第3章 人口ビジョン編

意見の概要	目指すべき将来の姿については、札幌市には都市部と郊外があることに留意しながら、しっかりと実現してほしいと思った。特に、子どもを嫌いになりながら子育てをしては元も子もないので、「子育てを楽しみながら」という視点が大事だと思う。【類似意見2件】
札幌市の考え方	結婚、出産や子育てに関する市民の希望を実現し、子育てをする市民が子育てを楽しみながら生き生きと暮らしていけるなど、目指すべき将来の姿の実現に向けて、第3期さっぽろ未来創生プランを推進してまいります。

意見の概要	若い男性の道外転出により、出会いが少なくなっているとまとめられているが良いのか。
札幌市の考え方	出会いの減少については、女性の数よりも男性の数が多いほど、有配偶率が高まる傾向が見受けられたことを踏まえて、現状、女性の数のほうが多い札幌市においては若い男性の道外転出であったり、道外からの転入促進といった部分が重要となるものとしてまとめております。また、そもそもの出会う機会そのものの不足についても挙げております。

意見の概要	将来推計人口では、当然、高齢者が増えて、生産年齢人口が減り続けている。単に人口を増やすのではなく、なるべく若い世代を多くしていくことが大切である。【類似意見1件】
札幌市の考え方	御意見のとおり、将来推計人口については、高齢人口が増加し、生産年齢人口が大きく減少していくことが課題であるものと認識しており、人口減少緩和戦略において、若い世代へ向けたアプローチの強化を掲げるなど取組を推進してまいります。

意見の概要	少子化の要因調査における既婚非出産、非複数子の分析では、育児の要因が多いので、育児を楽にするための取組を重点的に行うのが良いと思う。【類似意見1件】
札幌市の考え方	御意見のとおり、少子化の要因調査において、既婚非出産、非複数子の分析では、育児環境の分野に多く要因が見受けられましたので、女性の「孤育て」の防止、様々な方の力で子育てを行うことができる環境や柔軟な考えの普及など、子育てを支える環境づくりに取り組んでまいります。

意見の概要	少子化の要因調査の中で、共働き率が低いのは、結婚後に働く場所がない、パートや契約社員が多いということで、これでは人口増加を望めない。
札幌市の考え方	御意見のとおり、共働き率が低いのは、結婚や子育てと両立して働く場所がないということが影響している可能性が推察されることから、働きやすい環境づくりなど質の高い雇用創出や結婚・出産・子育てを支える環境づくりに取り組んでまいります。

第4章 総合戦略編 第1節 総合戦略の枠組み

意見の概要	総合戦略に記載されていることが全てできれば、人口減少は緩和されると思うので期待している。
札幌市の考え方	人口減少の緩和に向けて、自然増加と社会増加の両面から粘り強く取り組んでまいります。

第4章 総合戦略編 第2節 人口減少緩和戦略 1 質の高い雇用創出と魅力的な都市づくり

意見の概要	GX推進により、北海道の自然が失われる可能性はないのか。また、電気代が高騰する中でGXによる電気はさらに高単価であり、道内への企業進出の足かせにならないのか、既存企業もやせ細ることにならないのか。【類似意見1件】
札幌市の考え方	再生可能エネルギーの発電施設などを設置する際には、電気事業法などの関連法令に沿って、保安水準の確保や公害の防止等の措置がなされることとされており、地域の皆様のご理解のもと、環境に十分配慮し取組を推進していくことが基本であり、事業者の方々にも事業計画策定ガイドラインの遵守、環境影響評価手続における住民の方々への説明会なども含め、地元への丁寧な対応をお願いしながら進めてまいります。 また、北海道は、再生可能エネルギー発電のポテンシャルは高いものの、2022年度の道内での再エネによる年間発電電力量は全体の33.9%であり、発電のメインは石油や石炭となっているという現状があります。 GX推進に伴うインフラ整備等が電気料金に及ぼす影響は一概に言えないものですが、例えば、燃料費の価格高騰の影響を大きく受けている石油・石炭への依存度が下がることも考えられます。一方で、大量のクリーン電力を求めているデータセンターなどの事業においては、GXの推進が企業誘致に繋がる可能性があります。

意見の概要	大企業への就職を希望する若者が多いことから、道外への転出者が多いのではないかと考えるため、主な大企業の札幌進出の支援金を出し、札幌にも就職の場を増やせば、札幌市民の転出防止だけではなく道外からの転入も期待できるのではないかと考える。
札幌市の考え方	雇用の創出や地域経済の活性化等を図るため、企業立地補助制度を活用しながら、企業の本社機能移転やIT・コンテンツ・バイオ企業等の誘致に積極的に取り組んでいます。 今後も補助制度や魅力的な都市環境のPRなどを行いながら、積極的な誘致活動を進めてまいります。

意見の概要	広大な土地を生かして企業誘致を進め、若者が魅力ある職場を選択できるようにし、海もあるので輸出入に力を入れたほうが良い。【類似意見1件】
札幌市の考え方	本市では人材の供給力や災害リスクの低さなどを強みとして本社機能やITコンテンツ企業を中心とした企業の誘致に取り組んでおり、今後も札幌の強みを更に積極的にアピールしながら、若者にとって魅力ある企業の誘致を進めてまいります。 また、人口減少に伴う国内市場の縮小を見据え、企業の海外進出・輸出拡大を後押しするため、海外展開を志す事業者へのコンサルテーションの提供、商談会の開催や展示会への出展支援などに取り組んでまいります。

意見の概要	中小企業などの発展が特に重要だと思う。そのために、早急に解決が必要な課題は、人材確保であり、有力な技術を持った人材が必要不可欠であると考え。また、給料を上げること、企業資金が多くなることも重要である。これらの積み重ねで、中小企業の発展が見込まれると思う。【類似意見3件】
札幌市の考え方	札幌市では、働き方改革や人材確保に課題を抱える市内中小企業等を対象に支援するため、「札幌市働き方改革・人材確保サポートセンター」において、課題に応じた専門家のコンサルティング支援や出前講座、求人情報発信補助金等による支援を行っているところです。 こうした取組を通じて、引き続き、人材確保や誰もが働きやすい職場環境の整備を支援してまいります。 また、産業振興・企業支援の各取組を通じて、市内企業の生産性の向上を支援し、稼ぐ力の底上げにつなげてまいります。

意見の概要	中小企業の支援において、地域経済をけん引する企業を創出するための集中的な支援とは具体的には何をするのか。
札幌市の考え方	成長を目指す市内企業を「SAPPORO NEXT LEADING 企業」として認定し、上場準備や経営戦略策定に関するコンサルティング等の総合的・集中的な支援を実施しています。

意見の概要	市内企業のSDGsの推進とは、どのような分野のSDGsを推進するのか。
札幌市の考え方	札幌市では、SDGs の 17 のゴールの達成に取り組む企業を見える化する「札幌 SDGs 企業登録制度」及び「札幌 SDGs 先進企業認証制度」の2つの制度を運用しています。 その中でも「札幌 SDGs 先進企業認証制度」では、札幌市において脱炭素化の実現に向けた動きを重要視している点を踏まえ、「脱炭素」に関する項目を重点項目として設定し、取組を推進しています。

意見の概要	既存の企業で働くことが難しいひきこもりなどの人達が希望をもち、生活保護を受けなくても生活できるよう、働き方を提案していただきたい。
札幌市の考え方	ワークトライアル事業において、就労に一定のハードルがある方を含めた幅広い求職者に対し、座学研修と研修給付金のある職場実習等を通じて就職を支援するとともに、札幌市ひきこもり地域支援センターでは、就労に関することも含め、ひきこもりの状態にある本人やその家族等からの相談をお受けしております。

意見の概要	仕事と生活の調和がとれていると思う人の割合の現状値が当初値よりも下がっているため、リモートワークの推進、育児休暇をはじめとする休暇制度の充実、また、仕事優先ではなく子どもに何かあれば帰れる環境にするなど、ワークライフバランスが充実するように取り組んでいく必要がある。【類似意見4件】
札幌市の考え方	働き方改革や人材確保に課題を抱える市内中小企業等を対象に、「札幌市働き方改革・人材確保サポートセンター」において、専門家のコンサルティング支援や出前講座、テレワーク導入補助金等による支援を行っているところであり、こうした取組を通じて、引き続き、誰もが働きやすい職場環境の整備を行ってまいります。また、女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に積極的に取り組む企業を認証するほか、認証企業に対し、育児休業等に関する助成を行っております。さらに、男性の育児休業や家事育児シェアを含むさまざまなテーマで開催する連続セミナーを実施するなど、誰もが暮らしやすく働きやすい社会を目指してまいります。

意見の概要	女性活躍の推進としては、女性管理職の登用に対して企業にインセンティブを設定したり、不安や悩みがある子育て中の女性がオンラインやチャットで気軽に相談できる環境を作ったほうが良い。【類似意見1件】
札幌市の考え方	札幌市では、女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に積極的に取り組む企業を認証し、支援制度を運用しております。 また、不安や悩みがある子育て中の女性の就労相談については、女性の多様な働き方支援窓口「ここシェルジュ SAPPORO」において引き続きオンラインやメール相談に対応してまいります。

意見の概要	女性活躍の推進で、個別相談やセミナー、在宅ワーク向けスキル講座等を通じて女性の就労を支援するとあるが、子育てする男性も同様にして支援する必要がある。【類似意見3件】
札幌市の考え方	札幌市では、女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に積極的に取り組む企業を認証し、支援制度を運用しているほか、子育てをする男性への支援については、男性の育児休業や家事育児シェアを含むさまざまなテーマで開催する連続セミナーの実施等を行っております。 また、働き方改革や人材確保に課題を抱える市内中小企業等を対象に「札幌市働き方改革・人材確保サポートセンター」において、課題に応じた専門家のコンサルティング支援や出前講座、テレワーク導入補助金等による支援を行っているところであり、こうした取組を通じて、引き続き、誰もが暮らしやすく誰もが働きやすい職場環境の整備を行ってまいります。

意見の概要	人材確保に向けた魅力発信について、効果的な支援を図るとあるが、具体的にどのような支援や取組を行うのか。【類似意見1件】
札幌市の考え方	建設分野をはじめとする人手不足業界や路線バス運転手の人材確保のため、体験型イベントの開催や、ポータルサイト・動画の作成・広報等を通じて、継続的に業界のPR・イメージアップに資する情報発信を実施してまいります。

意見の概要	優秀な高齢者の人材の活躍を推進すべきだ。
札幌市の考え方	就業を希望する高齢者の活躍は人材確保の視点からも重要であると考えており、市内企業に向けた高齢者雇用の意識醸成を図るセミナーや体験付き仕事説明会等のマッチング機会の提供により継続的に推進してまいります。

意見の概要	さっぽろ雪まつりにもっと力をいれるべきだ。
札幌市の考え方	さっぽろ雪まつりは、近年では国内外から200万人以上の方々にお越しいただくようになっており、世界に誇る一大イベントであると考えています。今後もより一層、魅力的なイベントとなるよう検討を進めてまいります。

意見の概要	観光資源の充実において、円山動物園などの施設機能等とは、こういった機能なのか、具体例を教えてください。
札幌市の考え方	円山動物園などの施設機能は、円山動物園やさとらんどの施設機能の向上を図っていく取組となります。円山動物園では、これまでも来園者の観覧環境向上のため、Wi-Fi 環境の整備、外国語パンフレット等の充実を進めてきたところですが、今後はオンラインチケットシステムを導入し、さらなる来園者満足度向上を図ってまいります。また、さとらんどについては、農業に対する市民の知識・理解の深化及び緑豊かな憩いの場を提供するため、さとらんどエリア全体の機能再編及び官民連携による事業手法の検討など、さとらんどの魅力向上に向けた取り組みを進めていきます。

意見の概要	MICE 誘致の強化について、施設整備に力をいれすぎるのではなく、人が集まりやすいようなイベントにお金を使ったほうが良いと思う。【類似意見3件】
札幌市の考え方	札幌市では、MICE(ビジネスイベント)の誘致について、国際的な都市ブランドの向上が見込まれる政府系国際会議や、札幌の重点産業分野や強みのある学術分野等に関する国際会議を主なターゲットとして、誘致に取り組んでおります。 今後も、札幌への開催効果が見込まれる MICE をより多く獲得するため、効果的な助成制度の在り方を検討するとともに、大規模な国際会議の誘致が困難である札幌のハード面の課題を解決するため、新たな施設整備も両輪で進めてまいります。

意見の概要	雪を公共施設等の冷房や発電などに活用してほしい。【類似意見3件】
札幌市の考え方	札幌市では、モエレ沼公園ガラスのピラミッドなどの施設で雪氷熱エネルギーを活用した冷房設備を取り入れ、広く啓発を行っておりますが、今後の雪氷熱エネルギーの活用については、費用対効果を踏まえ、新しい技術の動向も注視しながら、検討してまいります。

意見の概要	雪と共存したまちの魅力の向上についてで、多くの人がウィンタースポーツをしない一番の理由として、お金がかかることだと思うので、道具の購入への支援やレンタル料金や利用料を安くするべきと思う。【類似意見1件】
札幌市の考え方	札幌市では、小学生を対象としたスキーリフト旅金助成、小中学生を対象としたスケート貸靴料金助成、未就学児とその保護者を対象としたスキーレンタル料金助成の実施により、ウィンタースポーツの普及振興を図っております。今後も引き続き、多くの人々が気軽にウィンタースポーツに親しめるよう取り組んでまいります。

意見の概要	スノーリゾートのブランド化について、ニセコやトマム等のスキーリゾートにブランド力で勝つためにどのような取組を行うのか。
札幌市の考え方	市内にあるスキー場やスノーアクティビティ等の雪体験コンテンツの魅力をもっと高め、「雪の街の魅力」を観光客の誘客に最大限に活用するとともに、充実した都市機能や観光コンテンツを備えた「国際観光都市の魅力」との融合により、札幌でしか実現できない、街全体で冬を楽しむ「都市型スノーリゾートシティ」としてのブランド化を目指します。

意見の概要	雪と共存したまちの魅力の向上において、冬季のイベントとして、そりすべり大会などの子どもが喜ぶようなことを行うと良いと思う。【類似意見1件】
札幌市の考え方	多くの子どもや外国人観光客などに楽しんでいただけるような、雪の街札幌ならではの観光コンテンツの更なる充実を目指します。

意見の概要	観光客向けの無料 Wi-Fi の整備は悪用される可能性があるので対策が必要である。
札幌市の考え方	外国人を中心とした観光客の利便性及び満足度の向上を図ることを目的として無料の公衆無線 LAN である「Sapporo City Wi-Fi」の整備を行っております。「Sapporo City Wi-Fi」につきましては、運用を受託している東日本電信電話株式会社と連携のもと、国の定めた手引き等に従い、利用者情報の適切な確認を含め、不正利用を防止するための対策を取っております。今後とも、安全にサービスを提供するため、適切な対策を講じることに努めてまいります。

意見の概要	定山溪は障がい者にとって利用できるホテル等がほとんどないなど、札幌市は高齢者や障がい者に対してはバリアフリーを含め観光しやすいとは言えないところがあるため改善すべきである。
札幌市の考え方	宿泊施設の改修時に活用できる補助制度などを設け、定山溪を含む札幌市内宿泊施設のバリアフリー化を推進しているところです。今後もより一層、バリアフリー化を含めた観光客の受入環境整備に取り組んでまいります。

意見の概要	オーバーツーリズム対策にもっと力を入れてほしい。観光資源となるイベントの強化も掲げているが、今以上に観光客が増えても、札幌らしさが損なわれないよう取り組んでほしい。【類似意見2件】
札幌市の考え方	手ぶら観光の推進や交通利用の分散化などで公共交通機関の混雑緩和やマナー啓発を図るなどの対策を実施しております。今後も、オーバーツーリズムの未然防止や抑制に向けた取組を実施し、市民と観光客の双方にとって、過ごしやすく、魅力的なまちづくりを進めてまいります。

意見の概要	スポーツイベントの誘致・スポーツ施設の活用促進において、国際的スポーツイベントなどの誘致をはじめスポーツ事業を一層盛り上げていくべきだが、市民の支持を得るとともに、人が集まらなかったときに大きな赤字になってしまうので広報に力をいれるべきだ。【類似意見4件】
札幌市の考え方	スポーツイベントの誘致にあたっては、市民のスポーツへの関心が高まるよう、札幌市の広報媒体(ホームページや広報さっぽろ等)を活用するなど、主催者と連携し広報に力を入れてまいります。

意見の概要	スポーツイベントは子どもが集まるので少子化をやわらげることができる。コンサドーレの選手・レバンガの選手を呼ぶ魅力的なイベントを行うことで、大人のIターン、Uターンも見込めるし、子どもも集まるのではないか。
札幌市の考え方	札幌市では、4つのプロスポーツチーム(北海道日本ハムファイターズ・北海道コンサドーレ札幌・レバンガ北海道・エスポラーダ北海道)と連携協力をして、まちづくりを進めていくためにプロスポネット SAPPORO を設立しております。プロスポネット SAPPORO を通して、各チームの選手やマスコットを呼ぶ等、魅力的なイベントの開催を検討してまいります。

意見の概要	若い人は東京などの首都圏に出ていきたい人が多いと思っていたが、札幌が暮らしやすいから暮らし続けたいと思っている人が多く、都市に更なる発展ばかりを求めているわけではない。
札幌市の考え方	人口減少緩和戦略における若い世代へ向けたアプローチの強化を中心に、札幌市で暮らし続けたいと思っていただけるよう、若者に選ばれる札幌づくりに取り組んでまいります。

意見の概要	居心地が良く歩きたくなる空間形成について、冬季は外に出る回数が少なく、降雪によって魅力的な景観を維持することも難しいので、一年中歩きたくなる空間を形成することは難しいと思うが、十分な除雪や寒さ対策などできるのか。【類似意見5件】
札幌市の考え方	札幌市では、居心地が良く歩きたくなるまちづくりを実現するための計画「(仮称)札幌市ウォーカブルビジョン」の策定を進めており、当該ビジョンの中では、ご指摘に関連した「冬のウォーカブル」の目指す姿についても議論を進めております。 札幌の雪は大きな課題であり弱みでもありますが、一方、冬に向き合い、広場や道路空間、屋内空間、地下施設等を活用し、雪を札幌の強みとして活かすことができるよう、冬でも居心地が良く歩きたくなるまちづくり・空間形成を検討してまいります。

意見の概要	子どもたちが遊べる場所を充実させ、公園でボールを使って遊べたり、安全な遊具で遊べるようにしてほしい。【類似意見3件】
札幌市の考え方	公園は、立地や広さなどによりその特性や利用状況が異なりますが、それぞれをニーズに合った空間にしていくことは重要と考えますので、公園利用者や公園の近くにお住まいの皆様の意見も踏まえながら、遊具を含む施設の維持管理や更新、再整備などを進めてまいります。なお、ボール遊びについては他人に危害を及ぼす恐れがなく、迷惑とならない場合は可能となっております。

意見の概要	ICT を活用したまちづくりにおいて、札幌市の行うアンケートをインターネットで行うことで、気軽に答えられるようになると思う。
札幌市の考え方	市民意識調査をはじめ、本市の実施する各種アンケートでは、現在も書面・郵送のみならずインターネット上でもご回答いただける環境を整備しており、今後も、市民の皆様にとって、よりご回答いただきやすい環境づくりに取り組んでまいります。

意見の概要	暮らしやすさの観点から地下鉄やバスなど公共交通ネットワークの強化に力をいれるべきだ。【類似意見2件】
札幌市の考え方	多様化する移動ニーズや運転手不足といった課題に対応しながら公共交通サービスを確保していくことは重要と考えており、地下鉄やバスなど各公共交通機関が連携し、バス路線の再編や代替交通の導入なども行いながら、まちと暮らしを支える持続可能な公共交通ネットワークの構築を進めてまいります。

意見の概要	新幹線の札幌延伸を実現して東京への行き来をはやくスムーズにしてほしい。
札幌市の考え方	北海道新幹線は、札幌まで延伸されてこそ最大限の効果を発揮するものであることから、札幌市としては、引き続き国や鉄道・運輸機構に対し、一日も早い完成・開業を求めています。

第4章 総合戦略編 第2節 人口減少緩和戦略 2 結婚・出産・子育てを支える環境づくり

意見の概要	人口減少の根幹には、子どもをつくる機会が減っていることが大きいので、結婚支援センターにより結婚を進める戦略はよいと思う。【類似意見1件】
札幌市の考え方	さっぽろ結婚支援センターの取組について、ご評価をいただき、ありがとうございます。 今後も、同センターの運営を通して、結婚を望む方々の婚活をサポートすることができるよう、引き続き努めてまいりたいと考えております。

意見の概要	若者の出会いの場づくりとして、結婚支援センターによる作られた婚活パーティーで、その後、マッチングした人たちの関係は続くのか。
札幌市の考え方	さっぽろ結婚支援センターが企画・運営する「婚活イベント」では、トークイベント終了後に、リクエストカードを記入・提出いただくことによってお引き合わせをする、いわゆる「カップリング」を行っており、カップル成立後は、お互いの同意の下、連絡先等の交換をしていただいておりますが、参加者に対するイベント後のフォロー等は行っておりません。

意見の概要	若者の出会いの場づくりについて、結婚率が低下している原因は出会いがないからではなく、結婚することでかかる費用や、女性の場合は仕事が継続できないなどが大きいと思うため、それらに対応する施策を検討する必要がある。【類似意見2件】
札幌市の考え方	結婚率の低下の要因については、結婚後の生活を維持していくための資金の問題であったり、出会いの問題や、そもそも結婚の必要性を感じないといった理由もあるなど多岐に渡っていることから、オンライン結婚支援センターによる結婚に向けた支援や若い世代へ向けたアプローチの強化など様々な観点から取り組んでまいります。

意見の概要	子ども、子育て世代、妊婦、出会いを求めている人などへの支援は十分あるが、一人暮らしの人もいるので、そういった人たちに向けた支援もあると良いと思う。【類似意見1件】
札幌市の考え方	第3期さっぽろ未来創生プランにおいては、「誰もが幸せを感じ、希望を実現している、魅力と活力に満ちあふれる未来」を目指すべき将来の姿の大項目に掲げるとともに、札幌Well-being指標では「独身で生きても肩身の狭い思いをすることはない」など多様性の観点を掲げ、一人暮らしの方も含め、質の高い雇用創出と魅力的な都市づくりや若い世代へ向けたアプローチの強化などに取り組んでまいります。

意見の概要	妊娠前の支援について、ある程度の人口に増えるまでは、不妊治療の費用を全額免除にした方がよいと思う。
札幌市の考え方	不妊治療については、治療にかかる費用がこれまで自費診療であったところ、基本的な治療については令和4年度より保険適用となり経済的負担が軽減されたところです。札幌市においては、令和5年度より保険適用の範囲外である先進医療についても一部助成をしているところですので、今後も国の動向を注視しつつ検討してまいります。

意見の概要	産前・産後ケアの充実として、安心して子どもを産めるような環境にしたり、産後うつ予防や新生児への虐待を防ぐためにケアすることは、とても大切なことだと思うため、妊娠期のメンタルケア、出産時の医療費支援、出産後の産後鬱予防などを充実させてほしい。【類似意見1件】
札幌市の考え方	札幌市では、妊娠中の面談や家庭訪問において、産後うつ予防も含めた保健指導をしているほか、出産後に産婦が医療機関等で受診する産婦健康診査の費用の一部を助成し、産後うつ早期発見、早期支援に取り組んでおります。また、産後1年未満の母子を対象に産後ケア事業を実施し、産後の体調管理や育児のサポートを通し、産後うつや児童虐待予防に取り組んでおります。今後も事業の充実を図ってまいります。

意見の概要	子育てに関する不安の緩和において妊娠期から出産後までの継続した支援の実施と書いてあるが、具体的に何について取り組むのか教えてほしい。
札幌市の考え方	出産後の子どもの養育について出産前からの支援が特に必要と認められる妊婦に対し、母子生活支援施設を活用して、居室の提供や専門の支援員による子育て支援など、生活全般に係る継続的な支援を行います。また、妊娠SOS相談事業や保健センターで行っている母子保健事業において、重層的に支援を行います。

意見の概要	若い人は子育てへのサポートが少ないことに不安を感じていると思うので、ボランティアなどで支援したり、そういった支援をしやすい環境があれば良いと思う。
札幌市の考え方	区役所など身近な場所やご家庭を訪問して、子育てに関する様々な制度・サービスの情報を提供するほか、子育てに関する不安・悩みなどについての相談支援を行っています。 また、子育ての援助を受けたい人で行いたい人が会員組織を作り、保育所等への送迎や放課後、保護者の急用時にお子さんを預かる事業を行っています。

意見の概要	今の社会で子どもを持ちたいとは思えない。安心して育てられると思えない。
札幌市の考え方	子どもを持ちたいと思えるような安心して子育てができる社会に向けて、人口減少緩和戦略の結婚・出産・子育てを支える環境づくりの、安心して結婚・出産・子育てができる支援体制の充実を掲げるとともに、市民が幸せになるための取組の強化として札幌Well-being指標を活用した取組などを推進してまいります。

意見の概要	子どもを増やすためには、保育環境等の整備や出産費用、教育費等への経済的支援など安心して子育てができるような手厚い支援を実施したほうが良い。【類似意見9件】
札幌市の考え方	札幌市では、妊婦・子育て世帯に対し、妊娠届出分5万円、出産届出分5万円を現金で支給しています。これに代わり、令和7年4月以降は、妊婦であることを認定した後に5万円を支給、妊娠しているこどもの人数×5万円を現金で支給することで、妊婦等への経済的支援を行ってまいります。また、安心して子育てしながら働くことができるよう、私立保育所や認定こども園の整備等により、必要な保育の受け皿確保に向けて取り組むとともに、認可保育所等における第2子以降の保育料無償化を行っており、子育て支援環境の充実に向けた取組も行ってまいります。 経済的に困難な小中学生に対しては、一定の条件のもと、就学援助制度にて支援を行っており、学用品費や新入学学用品費を定額支給しているほか、修学旅行費や宿泊校外活動費、給食費などの支援も行ってまいります。

意見の概要	保育園のエアコン整備の事業は掲載されているが、幼稚園のエアコン整備はどうなっているのか。幼稚園も整備する必要がある。
札幌市の考え方	市立幼稚園5園については、令和6年度までに保育室、職員室、園長室及び保健室への常設エアコン整備を完了しております。私立幼稚園については、北海道において冷房の整備を含めた補助事業を実施しています。

意見の概要	多様な保育サービスの提供において、就労の条件や状況があまり良くない家庭を優先するべきである。
札幌市の考え方	保育サービスの利用においては、保護者の就労状況や経済状況等に配慮するなどしているところであり、引き続き、子育て家庭の多様な働き方を支援するため、保護者の状況に配慮しながら、保育サービスを提供してまいります。

意見の概要	安全な保育環境の確保として、保育人材の確保のために賃金の改善が必要である。
札幌市の考え方	保育人材の確保については、札幌市独自の取組として、一定年数勤続した保育士等への一時金給付事業等の実施により、人材確保の支援に取り組んでいるほか、保育士の処遇改善については、一定の改善は進んでいるものの、更なる改善を、引き続き様々な機会を通じて国に要望していきます。

意見の概要	仕事と子育ての両立が課題になっているので、小学生の夜間対応ができる学童保育を区に2～3個配置し、児童会館も19時までだが20時以降もあけておく。【類似意見1件】
札幌市の考え方	札幌市では、放課後の居場所の充実に向けて、ミニ児童会館の狭隘な状況の解消やインターネット環境の整備などの取組を行っているところであり、今後も児童クラブの利便性向上に向け対応を検討してまいります。

意見の概要	放課後の居場所の充実について、インターネット(Wi-Fi)の整備をすることで、学習をインターネットまかせになる、目が悪くなる、活字にふれなくなるという面があるので、それに関しても考えるべきだと思う。
札幌市の考え方	児童会館では、放課後の居場所としての内容が充実するよう、様々な体験・交流・学習活動を実施しており、そのための環境整備の一つの方法としてWi-Fiを設置しているところです。 また、デジタル端末を使用する際には、Wi-Fi使用にかかるガイドラインに基づき、健康にも配慮し使用するよう周知しております。

意見の概要	第2子以上の保育料無償化という項目で、第1子、第2子ともに無償化し、第3子以降の補助を減らしていく方針をとった方が良いと思った。その方が1人目、2人目の負担が軽くなり、合計特殊出生率が上がると思う。【類似意見3件】
札幌市の考え方	札幌市では、国が行っている第2子以降の保育料を軽減する制度において、対象範囲を拡大することにより、認可保育所等に通う第2子以降の保育料の無償化を行っております。また、第1子の保育料については、国の定める基準額よりも低い金額に設定しているところですが、さらなる負担軽減のための取り組みについては、札幌市の財政状況等を勘案しながら、今後も検討してまいります。

意見の概要	第2子以降の保育料無償化については、経済的に余裕のない人でも子育てしやすくなるので、大人になったときにあると助かる。
札幌市の考え方	認可保育所等を利用する方の費用負担を軽減するため、令和6年4月から第2子以降の保育料無償化を実施しているところであり、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、引き続き取り組んでまいります。

意見の概要	産前産後ケアの充実で育児までの支援を書いているが、小学校就学後、ノートや鉛筆、最近では高価になってきているランドセルなど、小学校低学年くらいまでの子がいる経済的に困難な家庭への支援も必要ではないか。
札幌市の考え方	経済的に困難な家庭の小中学生については、就学援助制度による支援を行っており、ランドセルの購入等に充てていただけるよう新入学学用品費を支給しているほか、入学後もノートや鉛筆の購入等に充てていただけるよう学用品費を支給しております。

意見の概要	新型コロナウイルスの影響で職業体験の機会が失われ、様々な職種へ興味をもつ機会が少なくなった。市内企業を知る機会、様々な職種に興味を持つ機会は重要なので、学校の規模によらず小学校・中学校において継続的に行ってほしい。【類似意見4件】
札幌市の考え方	各学校では、キャリア教育の指導計画に基づき、地域の環境を生かした職場訪問や職場体験学習を実施しています。また、教育委員会としても民間企業等と連携し、子どもの興味・関心に応じた様々な職業体験プログラムを実施しています。今後も、キャリア教育における子どもの職業体験機会の充実に努めてまいります。

意見の概要	子どもが学ぶ環境の充実において、「座学ではない学習活動の強化」とあるが、よりお金かかるのではないか。また、座学の方が良いのではないか。
札幌市の考え方	本事業では、単に勉強を教えるだけでなく、自己肯定感を持てるような居場所づくりの提供など、子どもの将来の自立に向けたきめ細かな支援を行っています。このため、子どもの職業観を育成し、将来の展望につながるような座学によらない職業見学会や職業体験会などの学習活動を強化しており、貧困の連鎖を防止するために、より一層積極的に取り組んでいます。

意見の概要	子どもたちが本に触れる機会に差があるため、きっかけを作るために図書館で読んだ本の数を生かしたイベントができるとよいと思う。
札幌市の考え方	<p>学校図書館においては、朝読書や読書週間等を活用しながら、子どもが本に触れる機会を工夫して創出し、司書教諭や学校司書、ボランティアの方々に関わりながら、イベントを企画するなど、各学校で、楽しみながら様々な分類の本に触れられるような工夫をしております。</p> <p>また、地区図書館等においては、読んだ本の数に関する取組として、通年で「めざせ！こども館長」という読書ノートに読んだ本を記録して 100 冊達成ごとにプレゼントを渡す取組を行っているほか、プロスポーツチーム主催の読書キャンペーンに参加協力し、既定冊数の読書を達成した子どもにプレゼントを配布する取組を行っています。</p> <p>これらの活動を通じて、子どもたちが本に触れる機会を創出し、読書の楽しさを広めていきたいと考えています。</p>

意見の概要	現在の社会に求められている人材を育成する観点から、義務教育でも IT・情報に関する授業に取り組む必要がある。【類似意見1件】
札幌市の考え方	<p>情報化社会においては、子どもがコンピュータ等の情報手段を用いて適切に情報を収集・整理・分析・発信等ができる情報活用能力を体系的に育成することが重要であると考えています。今後も各教科等の特質に応じて、子どもの発達の段階に応じて日常的に ICT の活用を促すことで、情報活用能力の育成を図ってまいります。</p>

意見の概要	体を動かす機会の充実について、周りでも体を動かしていない人が多いので、良い取組であり、特に夏は運動会があるので、冬に雪を使った取組もあると良いと感じた。【類似意見1件】
札幌市の考え方	<p>札幌市では、冬季における運動機会の確保及び増進のため、子どもたちがスポーツや身体を動かすことの楽しさを体験できる「チャレンジ！スポーツパーク」というイベントを開催しているほか、ウインタースポーツに親しむ機会として、小学生が無料で様々なウインタースポーツを体験することができる「ウインタースポーツ塾」というイベントも開催しております。</p> <p>また、札幌市内の各学校では、体育科・保健体育科の授業を中心に、子どもが運動の楽しさに触れられる教育活動を進めるとともに、授業で味わった運動の楽しさや学んだことを日常に生かし、自ら健康の保持増進に取り組む力の育成を進めています。冬季には、スキーやスケート、カーリングなど、雪国札幌の特色である雪や氷に親しむ学習を進めており、今後も冬場の環境を生かした教育活動の充実に向けてまいります。</p>

意見の概要	子どもたちの遊び場を増やすに当たって、プレーパークの推進があるが、印象が薄いため、ルール・開催場所・日程などを積極的にPRしていくことで、遊び場が増えることにつながると思う。【類似意見1件】
札幌市の考え方	プレーパークの開催場所や日程のほか、概要や必要性についても、より多くの方々に認知いただくためにPR方法を工夫しながら、今後も普及啓発活動を積極的に行ってまいります。

意見の概要	1人1台端末の利活用の推進について、本来の目的と異なる使い方をしている場面が見受けられるので防ぐ必要があるとともに、必要な情報の収集方法などをしっかり教えてほしい。【類似意見3件】
札幌市の考え方	各学校では、コンピュータ等の情報手段を用いて適切に情報を収集・整理・比較・発信できる力などの情報活用能力の育成を進めるとともに、情報セキュリティや情報モラルに関する指導の充実を図っています。情報モラルについては、子どもの発達の段階に応じた資料やアプリ等を用いて、継続的に情報リテラシーを高める取組を行っています。今後も、子どもが主体的に「何のために」1人1台端末を使うのかを考える場を設け、家庭と連携しながら、自らの行動に責任をもち、適切に利活用できるよう取り組んでまいります。

意見の概要	小中一貫した教育の推進については、私立の小中一貫校だけではなく公立の小中一貫校の創設を検討すべきである。
札幌市の考え方	札幌市においては、通学区域が概ね小中同一校区で、小中一体の校舎である、または小中一体の校舎整備を行う場合は、義務教育学校として設置することとしています。令和5年度には「札幌市立義務教育学校福移学園」を開校し、令和7年度に「札幌市立義務教育学校定山溪学園」を開校する予定です。

意見の概要	子どもを守る体制の充実について、スクールカウンセラーを全学校に配置することは良いと思うが、相談しにくい人、本当のことを言えない人、相談しているのを見られたくない人などのための工夫が必要だと思う。全員が相談することにしたり、学校で相談するのではなく、家から電話やメールなどで相談することができるなど、様々な方法でスクールカウンセラーに相談できる環境を作った方がよいと思う。【類似意見5件】
札幌市の考え方	学校の相談体制の充実を図るためには、心の専門家であるスクールカウンセラーに児童生徒が安心して相談することができる環境づくりが重要と考えております。そのため、今後は、スクールカウンセラーの勤務時間数の増加を検討したり、一人一台端末から相談依頼ができるようにしたりすることで、児童生徒にとってスクールカウンセラーが身近で相談しやすいものとなるよう進めてまいります。

意見の概要	子どもが安心、安全に過ごせる環境の充実とあり、この項目に市立の小中学校にスクールバスを導入することを加えると良いと思う。雪道や猛暑での通学はストレスであり、命の危険も伴う。子どもの転出を防ぐためにも登下校の負担を減らす必要がある。
札幌市の考え方	教育委員会では、徒歩通学を基本とし、その目安を小学校がおおむね2km、中学校がおおむね3km以内としております。それを超える場合には、公共交通機関を活用した通学を原則とし、公共交通機関による通学が困難と認める地域においては、スクールバス等、その他の手段も検討することとしております。いただいたご意見や社会情勢等を踏まえて引き続き検討・対応してまいります。

第4章 総合戦略編 第2節 人口減少緩和戦略 3 若い世代へ向けたアプローチの強化

意見の概要	市内大学との連携やサポートを強化することにより、人材育成などの場を増やしていくべきだと思う。【類似意見1件】
札幌市の考え方	人口減少緩和戦略の若い世代へ向けたアプローチの強化として、大学との連携強化を掲げており、人材育成をはじめとした地域課題解決に向けた取組を推進してまいります。

意見の概要	大学との連携強化について、「大学を起点とした多様な主体との連携」といった表現より、「大学や産業界等一体となった恒常的な議論の場の構築と連携」といった表現にし、今後は、札幌市のリーダーシップのもと、強固な産学官の関係構築を期待する。
札幌市の考え方	人口減少緩和戦略の若い世代へ向けたアプローチの強化として、大学との連携強化を掲げており、大学間の連携、大学と札幌市との連携、大学と産業界との連携などを促進してまいります。

意見の概要	結婚支援センターにおいて、若者の出会う機会が増加したとして、出会い後のトラブル等を未然に防ぐ対策も必要だと思う。
札幌市の考え方	さっぽろ結婚支援センターにおける「出会い」に関わるセンター会員規約では、「お見合い」時の双方の実費負担や「交際方針」に係る自己判断・自己責任について、それぞれお願いをしております。 御指摘にあるトラブルの防止対策は大切なことから、会員あてに改めて注意喚起を図る等の対応を図ってまいりたいと考えております。

意見の概要	若者の出会いの場づくりとしては、オンラインだけではなく、オフラインでもできる出会いの場を提供する必要がある。
札幌市の考え方	さっぽろ結婚支援センターでは、各区民センターで「婚活イベント」を実施しており、令和6年度は計8会場における開催となります。 同イベントについては、今後も開催を続けてまいりたいと考えておりますので、詳しくは同センターのホームページ等を御確認願います。

意見の概要	若者の出会いの場づくりと書いてあったが、存在が明確すぎると、利用するのに躊躇してしまう人が多くなってしまい、存在意義が無くなってしまわないか。
札幌市の考え方	さっぽろ結婚支援センターは、誠実に結婚を望む方々の婚活をサポートする公的なオンラインセンターです。 札幌市が提供する婚活サービスの安心・安全を感じていただきながら、一人でも多くの方々に利用していただくことができるよう、引き続き努めてまいりたいと考えております。

意見の概要	次世代の担い手を育成するために、小中学校で ICT の活用を進めるといいと思う。
札幌市の考え方	子どもたちが活躍する未来の社会では、ICT は欠かせないものになっていると考えられます。小中学校で使用している1人1台端末には様々なアプリが搭載されており、各学校における授業等で効果的に活用を図る取組を進めているところです。ICT 端末を授業中だけではなく、休み時間等も含め、学習や生活をより豊かにする道具の一つとして子どもが主体的に活用することにより、適切に情報を収集・整理・比較・発信等ができる情報活用能力や情報セキュリティ、情報モラルを身に付けることができるよう引き続き努めてまいります。

意見の概要	若者に選ばれる札幌づくりとしては、札幌駅のような発展した場所を離れた場所に増やしたり、時計台のような有名な観光地を紹介したほうが良い。【類似意見1件】
札幌市の考え方	若者に選ばれる札幌づくりとしては、地域おこし協力隊の活用などにより、時計台をはじめ札幌市の魅力的な観光地などを発信していくとともに、若い世代をはじめとした様々な世代が住みたくなる、にぎわいにあふれ新たな交流が生まれるなど、魅力向上に資する地域づくりを進めてまいります。

意見の概要	道外の若者を中心とした移住の促進について、若者だけに限らず、外国人やお年寄りも含めるべきで、特に外国から来た人は今でも「いい街だ」や「サイコー」などと言っているが、なかなか住むまでに至らない。
札幌市の考え方	道外の若者を中心とした移住の促進につきましては、将来的な生産年齢人口の減少などを踏まえ、若者を中心としておりますが、若者だけに限定するものではありませんので、様々な方々に札幌市の魅力や暮らしなどの情報を発信してまいります。

意見の概要	札幌には札幌にしかない雪などの魅力があるから、より多くの人に知ってほしいと思う。
札幌市の考え方	札幌にしかない魅力の発信は重要であると認識しており、人口減少緩和戦略の若い世代へ向けたアプローチの強化の道外の若者を中心とした移住の促進において、地域おこし協力隊の活用などにより、雪をはじめ札幌市の魅力を積極的に発信してまいります。

意見の概要	道外の人をどんどん取り入れることで、今住んでいる人が嫌な気持ちにならないようにしてほしい。
札幌市の考え方	人口減少緩和戦略の若い世代へ向けたアプローチの強化において、道外の若者を中心とした移住の促進を掲げておりますが、魅力的な都市づくりとしては、訪れる人だけでなく、住む人にとっても魅力あるまちを推進してまいります。

意見の概要	地域おこし協力隊がどのような制度、目的のものなのかをまず市民に向けて広報したほうが良い。
札幌市の考え方	地域おこし協力隊への市民の皆様の理解促進は重要と考えており、地域おこし協力隊の活動の際をはじめ、様々な出前講座の機会などを捉えて、制度や目的、活動実績など市民の皆様に周知してまいります。

意見の概要	地域おこし協力隊は、単に札幌市のために活動するだけでなく、周辺市町村も含めた効果があるよう活動すべきだと思う。
札幌市の考え方	地域おこし協力隊には、周辺市町村をはじめとする他の地域おこし協力隊と連携・協力した活動についても行っていただく予定ですので、周辺市町村など他市町村にも効果が波及するよう取り組んでまいります。

意見の概要	<p>地域おこし協力隊には、雪、食、自然をはじめ、札幌黄や札幌時計台など札幌ならではの魅力を発信してほしい。また、地元の人しか知らないグルメやお祭りなどの情報・魅力の発信や、冬の暮らし、子どもの遊び場や子育て情報などの特集もしてほしい。【類似意見 12 件】</p> <p>地域おこし協力隊には、その地域でしかできない楽しみ、新しいイベントなどを考えたり、大和ハウスプレミストドーム(札幌ドーム)を利用したイベントも企画してほしい。【類似意見2件】</p> <p>地域おこし協力隊には、南区にて人口増加のために集客力のあるイベントを開催するほか、芸術の森、アートイベントなどの面白いものがあること、自然が多くて気持ちの良い街であることを発信してほしい。【類似意見1件】</p>
札幌市の考え方	<p>人口減少緩和戦略の若い世代へ向けたアプローチの強化として、道外の若者を中心とした移住促進のために地域おこし協力隊の活用を掲げており、札幌ならではの魅力、地元の人しか知らない魅力、その地域ならではのものなどの発信・イベントの企画などに取り組んでまいります。</p>

意見の概要	<p>若い世代が道内へ来ない理由は、就職先が少ないといった理由が多いので、札幌市内の求人情報などを集めて、求人アプリを作った方が良いのではないかと。また、企業誘致を進めることで、若い世代への雇用を増やしていただくことが必要だと思う。【類似意見3件】</p>
札幌市の考え方	<p>札幌市では現在求人アプリの運用はございませんが、道外在住者に市内企業の情報を届けるため、UIJ ターン希望者の就職を支援する窓口を都内に設置し、就職相談やイベント開催、SNS やホームページでの情報発信等を実施しております。今後は、ポータルサイトや動画の制作を通じて、仕事探しに資する情報発信の強化も検討しており、こうした取組により若い世代や道外在住者に対してもアプローチを行ってまいります。</p> <p>また、雇用の創出や地域経済の活性化等を図るため、企業立地補助制度を活用し、企業の本社機能移転やIT・コンテンツ・バイオ企業等の誘致に積極的に取り組んでいます。今後も補助制度や魅力的な都市環境のPRなどを行いながら、積極的な誘致活動を進めてまいります。</p>

意見の概要	困難を抱える若者等への支援について、10代後半～20代の女性を対象として必要な支援を届けると書いてあり、学生は特に勉強にストレスを感じ、不安に陥りやすいため、相談などのサポートがあると、安心してくらしやすくなると思った。
札幌市の考え方	「札幌市困難を抱える若年女性支援事業(愛称:LiNK)」では、様々な困難を抱える主に10代後半～20代の女性を対象にSNSを活用したアウトリーチ型の相談支援や、相談内容に応じた関係機関へのつなぎのほか、自立支援を行っています。 また、札幌市若者支援総合センターでは、主に15歳から39歳の方を対象に様々な相談支援を実施しています。今後も若い世代の方々が安心して生活できるよう努めてまいります。

意見の概要	自由に入出りできる大規模な自習室などを市内に作れば、若者の増加につながり、学生にとっても嬉しいと思う。
札幌市の考え方	札幌市では、中央図書館等や生涯学習センターの交流学习コーナーに自習用のスペースを設けております。これからも、学生をはじめ市民のみなさまにご活用いただけるよう、引き続き取り組んでまいります。

意見の概要	雪と共存したまちの魅力の向上と冬季の政策はありますが、夏や秋、春などの他の季節にも札幌ならではの、札幌らしさを好きになるイベントを開催したほうが良い。【類似意見2件】
札幌市の考え方	1年を通して多くの観光客、市民に楽しんでもらえるよう、春はライラックまつり、夏はYOSAKOIソーラン祭りやビアガーデン、世界三大教育音楽祭の一つであるパシフィック・ミュージック・フェスティバル、秋には北海道の食が集合するオータムフェストやアートの入口として市民が気軽に文化・芸術に親しむ機会を提供するさっぽろアートステージ、冬は雪まつりなど、季節ごとに札幌ならではのイベントを開催しております。 今後もより一層魅力的なイベントとなるよう検討を進めてまいります。

第4章 総合戦略編 第3節 人口減少適応プロジェクト 1 市民が幸せになるための取組の強化

意見の概要	「独身でも肩身の狭い思いをしないこと」を札幌Well-being指標に取り入れていることは肯定的に評価する。
札幌市の考え方	札幌Well-being指標は、市民の皆様が自身の幸せ、周囲の幸せについて実感したり、振り返ることで、Well-beingの向上を自分事に捉えていただくことで、より幸せになっていただくことを目指していくものです。その中でも、評価いただいた部分をはじめ、「結婚して子どもを持つことこそ、人生の幸福だと考える人が多い。」など、多様性は、札幌Well-being指標を構成する重要な要素として捉えております。

意見の概要	「市民が幸せになる」とあるが、一人ひとりの幸せはそれぞれの人が感じるものであるから、簡単に他人が他人の幸せを規定することはできない。市民を幸せに「する」ために日々模索していただきたい。
札幌市の考え方	御意見のとおり、幸せというものは、それぞれの人が感じるもので、その在り方は様々であるものと理解しております。札幌Well-being指標は、札幌市が幸せというものを一方的に規定するものではなく、市民の皆様へのアンケート調査の結果を元に作成した45の指標により、市民の皆様が自身の幸せ、周囲の幸せについて実感したり、振り返ることで、Well-beingの向上を自分事に捉えていただくことで、より幸せになっていただくことを目指していくものです。

意見の概要	札幌Well-being指標は、自分の幸せや人生で大切なことは何かなどを振り返る良い機会を与えてくれるもので、今何ができるのか、できることをしようというモチベーションが上がったり、努力をしようと思った。【類似意見6件】
札幌市の考え方	札幌Well-being指標は、市民の皆様が自身の幸せ、周囲の幸せについて実感したり、振り返ることで、Well-beingの向上を自分事に捉えていただき、より幸せになっていただくことを目指していくものです。多くの市民の皆様に、Well-beingの向上を自分事にしていただけるよう、様々な手法を用いて推進してまいります。

意見の概要	札幌Well-being指標の結果を可視化して、市民が何に対してどう思っているのか目に見てわかるようにしたほうが良いと思う。
札幌市の考え方	札幌Well-being指標は、市民の満足度、幸福度などを数値化・可視化した結果を積極的に発信することで、Well-beingの向上を市民の一人一人に自分事にしていただく取組です。ご意見を踏まえながら、Well-beingの分かりやすい可視化に取り組んでまいります。

意見の概要	札幌Well-being指標の中でも、多様性という観点がまだまだであると感じた。
札幌市の考え方	札幌Well-being指標の「多様性」という項目は、特に若者に選ばれるまちになっていくためには特に重要な観点となりますので、札幌Well-being指標や関連するワークショップなど様々な機会を通じて推進してまいります。

第4章 総合戦略編 第3節 人口減少適応プロジェクト 2 外国人材に選ばれる環境づくり

意見の概要	外国人材に選ばれる環境作りについて、外国人向けの環境を整備することで、日本人に選ばれない環境となってしまうのは本末転倒なので、日本文化を尊重しつつ、その中で魅力的な都市づくりを行っていくことができれば、日本人にとっても、日本のことが好きな外国人にとっても住みやすい街になる。
札幌市の考え方	魅力的な都市づくりとして、訪れる人・住む人にとって魅力あるまちを推進していくとともに、若い世代へ向けたアプローチの強化として、道外の若者を中心とした移住の促進を掲げており、札幌の魅力などの積極的な発信についても取り組んでまいります。

意見の概要	外国人材に選ばれる環境づくりという項目がプランの中で一番良い取組だと思った。少子高齢化が進む中、海外からの人材を確保することで、札幌市がより活気あふれるまちにすることが可能だと思う。一定程度外国人が多く住む居住区みたいなものがあると、日本にきて困っている、心細いと思っている外国人の負担の軽減になると思う。【類似意見4件】
札幌市の考え方	札幌市がより魅力と活力にあふれたまちになるためには、外国人を含めた多様な人材の活躍促進が重要であると考えております。一方で、札幌で暮らす外国人市民の中には、日本に来て困っていたり心細いと感じておられる方もいると思われます。そのような方も含めて、外国人市民が地域から孤立することなく安心して生活できるよう、相談支援体制の整備や日本語学習支援などを通じて、外国人材に選ばれる環境づくりに取り組んでまいります。

意見の概要	外国人雇用の拡大により、日本人よりも低い賃金で働く外国人が増えると、日本人勤労者の低賃金化を引き起こすとともに、札幌市民が住みづらくなってしまうおそれがある。【類似意見5件】
札幌市の考え方	外国人雇用の拡大における外国人受入・定着支援事業及びUIターン就職移住支援事業においては、対象とする在留資格の「技術・人文知識・国際業務」や「特定技能」は日本人と同等額以上の賃金を設定することと定められており、日本人勤労者の低賃金化に直結するものではないと認識しております。また、特定技能外国人の雇用にあっては、登録支援機関を通じて生活オリエンテーションや日本語学習、地域住民との交流機会の提供等を検討しており、外国人や地域の住民の方々が安心して生活できるよう支援してまいります。

意見の概要	外国人雇用の拡大には市内の留学生に着目することが効果的と思われる。
札幌市の考え方	主に市内に在住する外国人留学生を対象とした、市内企業との合同企業説明会を実施しております。今後もこうしたマッチング機会の創出により、市内企業への就職支援を実施してまいります。

意見の概要	外国人は「人材」ではなく、「人」であるため、彼らが生活者として札幌を選ぶ場合、子育て、教育、医療に関しても環境づくりが必要になる。そして、多文化共生の推進など、何よりも受け入れるマジョリティー側の意識を整える必要があり、これらにどう向き合うかをしっかり考えて対応していただきたい。【類似意見2件】
札幌市の考え方	御意見のとおり、外国人の方も札幌で暮らす地域社会の一員であるため、安心して生活できるよう様々な支援を行ってまいります。また、日本人市民・外国人市民の双方が互いの文化について理解を深め、共生の意識を持つことができるよう、関係機関や企業・団体等とも連携しながら、様々な機会を捉えて啓発に取り組んでまいります。

意見の概要	外国人雇用の拡大をするためには、外国人に日本語を教える機会も必要で、そのための施設も必要だと思う。
札幌市の考え方	札幌市では、日本語教室の開催や子どもの学習支援を行っているほか、市内には日本語学校やボランティアによる日本語教室も複数あることから、外国人市民が持続的に日本語を学習できるよう、連携を図ってまいります。また、外国人受入・定着支援事業において、特定技能外国人の雇用にあっては登録支援機関を通じて日本語学習を継続的に支援することを検討しております。

第4章 総合戦略編 第3節 人口減少適応プロジェクト 3 持続可能な都市の在り方の検討

意見の概要	町内会活動の成り手不足を踏まえ、役割を明確にし、その機能をゴミ、除排雪に限定すべきである。
札幌市の考え方	町内会は地域住民によって組織された任意の団体であるため、その活動内容は町内会の判断によるところですが、担い手不足の課題に対しては、札幌市未来へつなぐ町内会ささえあい条例に基づき、町内会の課題解決のためにアドバイザーを町内会に派遣する事業など様々な支援を行っております。

意見の概要	1972年に開催された札幌オリンピックから50年以上経ち、インフラを再整備する必要がある。無駄な経費を削減し、インフラ整備の費用の一部をつくることができると思う。
札幌市の考え方	政令指定都市への移行と人口の急増に合わせて整備したインフラ施設の老朽化対策については、多額の財政需要が見込まれます。 このため、再整備においては、計画的な修繕による長寿命化や、今後の人口減少に見合った施設規模への見直し、必要な機能を複合化し不要になった施設は廃止して効率的に再整備するなど、費用の抑制に努めてまいります。 また、毎年度の予算編成、予算執行において、事業手法の抜本的な見直しや再編・再構築、事業費の精査・節減や歳入の確保など、継続して不断の見直しを進めてまいります。

意見の概要	人口減少適応プロジェクトで長期的な検討項目とされている公共交通ネットワーク、高齢者施策は、人口減少の中、長期で良いのか。今や最重要課題ではないか。
札幌市の考え方	人口減少適応プロジェクトの持続可能な都市の在り方の検討で長期的な検討項目に掲げている分野については、最重要課題の1つであるものと認識しているところであり、これらの課題は、様々な観点からの検討が必要であるとともに、検討自体も様々な手法が想定されることから、長期的な検討を要するものでありますが、持続可能な都市の在り方の構築に向けて検討を重ねてまいります。

その他

意見の概要	防災減災対策がプランに記載されておらず、札幌市において、防災対策の準備が十分に行われていると思えず、近隣市町村との広域連携の具体的な動きもみられない。
札幌市の考え方	本プランは人口減少対策の個別計画であり記載しておりませんが、札幌市では、札幌市地域防災計画、施策ごとの各種計画・マニュアルを定め、災害対応訓練や備蓄物資の整備、ハザードマップの整備などの防災対策を計画的に行っています。また、近隣市町村との広域連携については、有事に円滑な連携を行えるよう、さっぽろ連携中枢都市圏を構成する関係 11 市町村の防災担当者レベルにおいて意見交換のための会合を定期的に行い、顔の見える関係を構築しております。

意見の概要	プランが長いので、もっと簡単で読みやすいプランにしてほしい。【類似意見 1件】
札幌市の考え方	第3期さっぽろ未来創生プランの策定に当たっては、これまでの計画のようなA4縦型の冊子を廃止し、デジタル化に対応したA4横型の形式にするとともに、記載内容の簡潔に努めましたが、ご意見を踏まえながら、市民の皆様に分かりやすいものとなるよう、出前講座やワークショップなどの様々な機会において工夫に努めてまいります。

第3期さっぽろ未来創生プラン
パブリックコメント意見集

令和7年(2025年)3月発行

企画・編集:札幌市まちづくり政策局政策企画部企画課

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目

電話:011-211-2192

FAX:011-218-5109

ホームページ:<https://www.city.sapporo.jp/kikaku/miraisousei/3rd/miraisousei.html>

市政資料等番号:01-B01-24-2815